

林産組合長制度による集団間伐の推進等を通じた「地域ぐるみの森林管理」の実践

加賀市、小松市、能美市、白山市の4市に所在した森林組合が広域合併して構成されるかが森林組合は、組合管内の町内会レベルを単位とした組合員組織で組合員の要望のとりまとめや組合事業の普及などを行う「林産組合長制度」を導入し、組織的な集団間伐による低コスト高効率化等により「地域ぐるみの森林管理」を実践している。



背景と課題

県内最大規模の広域合併

かが森林組合は、石川県南西部(旧加賀市、小松市、旧山中町、旧辰口町)の2市2町の4森林組合が平成12年4月に広域合併して発足した。さらに平成19年4月に隣接する白山森林組合(白山市)と合併し、管理区域が県内最大規模の森林組合となった。

現在、管内の行政区域は4市(加賀市、小松市、能美市、白山市)で、森林面積は113,970ha(国有林を含む)、うち民有林面積は86,171ha、組合員6,615名で構成されているが、広域合併によって組織の規模が拡大したことにより、組織内での連携、地域ごとのニーズを踏まえた作業の効率化が求められていた。



取組のきっかけ

合併を機に林産組合が増加

かが森林組合では、もともと合併前から組合内の細部組織として集落レベルの地区組織を活用した取組を行ってきており、地区組織の取りまとめ役が組合事業の普及活動や組合への要望等の取りまとめ等を行っていた。合併を機に新たに加わった地区においても同様の地域づくりを進めたことで、「林産組合」と呼ばれる地区組織が合併前の117組合から189組合にまで増加することとなった。この「林産組合」と取りまとめ役の「林産組合長」制度は、かが森林組合の「地域ぐるみの森林管理」を支える原動力となっており、組合長を中心に座談会を開催するなどの取組により、地域の信頼関係や互助精神を基盤とした森林所有者等の合意形成が図られている。

かが森林組合では、この制度を基盤として集団間伐の推進やFSCグループ認証の取得、GIS(地理情報システム)を活用した森林管理などを進めている。

かが森林組合

所在地：〒923-0181
石川県小松市長谷町
ヨ244番地
連絡先：0761-46-1341
FAX：0761-46-1177

石川県南西部

(加賀市、小松市、白山市、能美市)

総人口：345,757人
高齢化率：21.4%
世帯数：119,596世帯
総面積：1516.15 km²
※各数値は4市の合計





取組と成果

林産組合長制度による効率化と地域コミュニティの醸成

取組 1

林産組合長制度の導入

非常に広域な範囲を管轄としているかが森林組合を組織的に運営するために、「林産組合長制度」を導入している。これは、組合管内の町内会レベルを単位とした組合員組織で、林産組合長は組合員の要望のとりまとめや、組合事業の普及など組合とのパイプを担っている。林産組合長の多くは現役りタイヤ後であり、責任感が強く地域で信頼を得ている人材である。

取組 2

効率的な集団間伐

林産組合長制度の定着化は、集落単位で進められる集団間伐に弾みを付けた。この制度による集団間伐では、まず林産組合長が集落のメンバーの話し合いの先頭に立ち利害関係等の意見を調整しながら、間伐面積を10ha程度に取りまとめ、作業数量拡大による効率化と低コスト化を追求している。

取組 3

森林認証の取得

組合としての森づくりのビジョンを具現化する観点もあり、平成17年5月、組合員の約8割(3,643名・合併前)の参加によるFSCグループ認証を取得した。また、加工流通過程において、認証された木材以外のものが混合されないよう管理するシステムに対して与えられる、CoC認証(生産物流通認証)もあわせて取得している。

取組 4

GIS(地理情報システム)の導入による森林管理

平成19年度よりGIS(森林地理情報システム)を導入して、間伐完成後の森林を対象に森林境界の明確化を図ることとで、より効率的な森林管理を進めている。

取組 5

百年木運動

木材価格が低迷している中、100年以上の大径木は高値で取引されることから、通常60年前後で伐採される木を幹の太い「百年木」の林へと組織的に育成する活動を推進している。

成果

林産組合数の増加

広域な地域全体をまとめていくため、林産組合長制度の普及と定着化を推進した結果、林産組合の数は合併前の117組合から、現在189組合にまで増加し、かが森林組合の「地域ぐるみの森林管理」を支える原動力となっている。

森林環境の保全と高効率化

集団間伐の活動により、面的な作業区域が確保され、作業効率も大幅に向上した。また、大面積の間伐により森林環境が良好に保たれており、材木としても定期的・安定的な出荷、産地直送の原材料を使用することでコストダウンにもつながっている。

FSCグループ認証の実現

林産組合長制度により地域コミュニティを育んできたことが、FSCのグループ認証取得に大きく貢献した。

